

## 春の病気を漢方で治す

『春の女神症候群』（池野一秀先生、2003）という症候群があります。

- ①入学試験、新入学に伴う生活パターンの変化とストレスで、それまで目立たなかった不定愁訴がいっせいに現れる
- ②早春から梅雨時にみられ、圧倒的に女性に多い

長野県の池野先生が提唱されています。

思い当たる方が多いのではないのでしょうか？

うちのクリニックでも女性の相談が増えています。

内科などかかりつけ医では、特に異常なしと言われます。

しかし本人さんは体調が悪い状態が続きます。

今回はその1つの「**パニック障害**」に使える漢方薬を紹介します。

診療内科・精神科にすでに受診され、内服薬をもらっている方も多ようです。

漢方では、不安発作を「奔豚気病」と考えます。

豚がトコトコと自分の胸のあたりを走り回る感じ（動悸）がするということです。

こういうときは『**苓桂朮甘湯**（りょうけいじゅつかんとう）』という漢方薬を用います。

これはエキス剤にないので、エキス剤を併せて近い処方を作ります。

**(39) 苓桂朮甘湯**（りょうけいじゅつかんとう）と

**(72) 甘麦大棗湯**（かんばくたいそうとう）を

1包ずつ一緒に飲みます。

飲み方は頓服です。

パニック発作が起こった一、と感じたら、カバンにしよばせておいてサッと飲みます。

15～30分くらいで効いてきたら、

ありがたいです。



### Point



苓桂朮甘湯

甘麦大棗湯

## (39) 苓桂朮甘湯（りょうけいじゅつかんとう）

### 効能

- ①不安障害
- ②バランス感覚の失調（めまい）
- \* 2つの異なる病態を改善する応答を引き出す
- \* 味は甘いです \* ほとんど女性用です



## (72) 甘麦大棗湯（かんばくたいそうとう）

### 効能

- \* 環境の変化に対応できずに暴言や暴力をふるう高齢者で、精神状態が一触即発の状態になっているときに、これを短時間で落ち着かせる応答を引き出す
- \* 女性にみられるヒステリー \* 小児の夜泣き、ひきつけ
- \* 頻回にあくびが出る人によく合います \* 味は甘いです



## コメント

甘い漢方薬には「甘草」が入っています。

甘草は「急に」というキーワードが大切です。

急に、ノドが痛い ➡ (138) 桔梗湯（桔梗＋甘草）

足がつった ➡ (68) 芍薬甘草湯（芍薬＋甘草）

便が出ない ➡ (84) 大黃甘草湯（大黃＋甘草）

といったように、急性の症状に使う漢方薬に含まれています。



## お知らせ

岐阜市の漢方外来 4月9日（土）、23日（土）

時間：14:00～17:30 場所：中島小児科（岐阜市健康東町2-1）※すべて「院外処方」です。

小児夜間急病センター当番日 4月1日（金）

時間：19:30～22:30（受付） 場所：岐阜市民病院

休診のお知らせ 4月2日（土）

都合により休診します。よろしくお願ひします。